

まえがき——糸電話で 001

一章 オビの話《宮武外骨から佐藤嘉尚まで》

二章 オビの値段

オビから物語を読む

川口則弘『芥川賞物語』『直木賞物語』	043
てんとう分館『芥川症』(久坂部羊)	049
市川真人『芥川賞はなぜ村上春に与えられなかったか——擬態するニッポンの小説』	050
山崎國紀『知られざる文豪直木三十五——病魔・借金・女性に苦しんだ「畸人」』	055
黒田夏子『a b さんご』	060
楊逸『時が滲む朝』	065
てんとう分館『ワンちゃん』(楊逸)	069
伊集院静『ノボさん——小説 正岡子規と夏目漱石』	070
葉室 麟『蝸ノ記』	075
冲方 丁『天地明察』	080
『懂』	085
沢木耕太郎『246』／伊坂幸太郎『3652——伊坂幸太郎エッセイ集』	089
てんとう分館『ヤマの記憶 山本作兵衛聞き書き』(西日本新聞社)	095
辻 仁成『右岸』／江國香織『左岸』	096
てんとう分館『四万十川 第一部 あつよしの夏』『四万十川 第二部 とおいわかれの日々に』(笹山久三)	102
小川洋子『博士の愛した数式』	103
井上ひさし『ふ ふ ふ』『ふ ふ ふ』『ふ ふ ふ』	107
オビから歴史を読む	
遠山美都男『天平の三姉妹——聖武皇女の矜持と悲劇』	112
坪内祐三『慶応三年生まれ七人の旋毛曲り』	116
司 修『孫文の机』	121
上原善広『日本の路地を旅する』	125
栗原弘行『尖閣諸島売ります』／山本皓一『日本の国境を直視する——①尖閣諸島』	130
熊谷 徹『なぜメルケルは「転向」したのか』	135

北海道文学館編『知里幸恵「アイヌ神謡集」への道』／ 西成彦・崎山政毅編『異郷の死・知里幸恵そのまわり』 片倉もとこ『ゆとろぎ——イスラームのゆたかな時間』	145 140
---	------------

オビから人物を読む

福田千鶴『徳川秀忠——江が支えた二代目將軍』 笹沢 信『ひさし伝』 てんとう分館『生命の王者——油絵を描いた禅坊主・中川一政』（清水義光） 金子兜太『荒凡夫一茶』 宇佐美承『新宿中村屋 相馬黒光』 榊 莫山『莫山つれづれ』『文房四宝 筆の話』 大河原英與『山本周五郎最後の日』／齋藤博子『間門園日記——山本周五郎、夫妻とともに』 五味文彦『西行と清盛——時代を拓いた二人』 江國 滋『おい癪め酌みかはさうぜ秋の酒——江國滋闘病日記』 安野光雅『絵のある自伝』 小林伸彦『うらなり』	149 159 160 161 166 170 175 180 185 190 195
--	---

オビから文化を読む

五木寛之『下山の思想』『林住期』 瀬戸内寂聴『秘花』 横尾忠則『悩みも迷いも若者の特技だと思えば気にすることないですよ。皆をうして大人になっていくわけだから。ぼくなんか悩みと迷いの天才だったですよ。悩みも迷いもないところには進歩もないと思っ て好きな仕事なら何でもいい。見つけてやっつけて下さい。』 養老孟司『バカの壁』『超バカの壁』『死の壁』／筒井康隆『アホの壁』 佐治晴夫『星へのプレリユード』 渡辺淳一『鈍感力』『阿寒に果つ』 畑 守人『物語 高野辰之』／猪瀬直樹『唱歌誕生——ふるさとを創った男』 丸山健二『千日の瑠璃 上・下』 山口謠司『てんでん——日本語究極の謎に迫る』『日本語の奇跡——〈アイウエオ〉と〈いろは〉の発明』 小野正弘『オノマトペがあるから日本語は楽しい——擬音語・擬態語の豊かな世界』	200 205 205 210 215 220 224 229 234 239 244
--	---

三章 オビ殿堂

賞と推薦

①『蹴りたい背中』（綿矢りさ）②『沖で待つ』（絲山秋子）③『海の仙人』（絲山秋子）	251
---	-----

- 『陰の穂みか』(玄月) 『バレット』(吉田修一)……………252
- 『コリイカ』(青山真治) 『雲をつがむ話』(多和田葉子)……………253
- 『聖水』(青来有一) 『信長の棺』(加藤廣)……………254
- 『デフシの正体』(藻谷浩介) 『謎解き』『張作霖爆殺事件』(加藤康男)……………255
- 『普通の家族がいちばん怖い』(岩村暢子) 『マンガの教科書』(吉村和真編)……………256
- 『無駄学』(西成活裕) 『屋上ミサイル』(山下貴光) 『臨床真理』(柚月裕子)……………257

キャッチコピー

- 『象の背中で焚火をすれば』(広瀬隆) 『面白半分』の作家たち』(佐藤嘉尚)……………259
- 『手はいつ生えてくるの』(小畑延子) 『ソジフオスの勲章』(宮原昭夫)……………260
- 『出ふるさと記』(池内紀) 『本の背表紙』(長谷川郁夫)……………261
- 『人間自身——著るべきことと終わらな』(池田晶子) 『装丁問答』(長友啓典)……………262
- 『語前語後』(安野光雅) 『新書七十五番勝負』(渡邊十絢子)……………263
- 『天皇陵の謎』(矢澤高太郎) 『天下統一』(藤田達生)……………264
- 『鎌倉大仏の謎』(塩澤寛樹) 『慶喜のカリスマ』(野口武彦)……………265
- 『昭和天皇の親代わり——鈴木貫太郎とたか夫人』(若林滋)……………266
- 『ここらの王国——菊池寛と文藝春秋の誕生』(猪瀬直樹)……………266

- 『日韓がタフにする半島の歴史』(室谷克美) 『遅読のすすめ』(山村修社)……………267
- 『聞く力——心をひろくする35のヒント』(阿川佐和子) 『日々をまたに変える技術』(植竹伸太郎)……………268

デザイン

- ①『のほりぐだりの…』(まご・みちお) ②『絵をかいていちんち——まご・みちお 100歳の画集』(まご・みちお) 『中国に人民元はない』(田代秀敏)……………270
- 『風紋五十年』(林聖子) 『老人力』(赤瀬川原平)……………271
- 『舟を編む』(三浦しをん) 『文壇』(野坂昭如)……………272
- 『戦国の貧乏天皇』(渡邊大門) 『百年の誤謬』(岡野宏文・豊崎由美) 『誤謬日記』(斎藤美奈子)……………273
- 『宮沢賢治のちから』(山下聖美) ①『日本のお守り——神様とご利益がわかる』(畑野栄三監修) ②『木目金の教科書』(高橋正樹監修)……………274
- 『幻想劇場』(唐十郎) 『まぼろし駅前多田便利軒』(三浦しをん)……………275
- 『カートルド・スタイン——20世紀文学の母』(ウィルソン夏子) 『乳と卵』(川上未映子)……………276

オノマトペ

- 『チンドン——聞き書きちんどん屋物語』(大場ひろみ) 『東京ひとり散歩』(池内紀)……………278
- 『感動する脳』(茂木健一郎) 『ゲゲゲの娘。しっしっの娘。うらうらの娘』(水木悦子・赤塚りえ子・手塚るみ)……………278

子).....279

招待席

- 『CM殿堂——時代を超えるアイデアとクリエイターたち 社団法人全日本シーエム放送連盟（ACC）創立40周年記念誌』（宣伝会議） 『野球殿堂』開館50周年（野球体育博物館編）.....281
- ①『花嫁はなぜ顔を隠すのか』（増田美子編）②『野球はなぜ人を夢中にさせるのか——奇妙なゲームのルーツを訪ねて』（佐山和夫） ①『知られざる文豪直木三十五——病魔・借金・女性に苦しんだ』崎人』（山崎國紀）②『ひみつの王国——評伝石井桃子』（尾崎真理子）.....282
- 『ないもの、あります』（クラフト・エヴィング商会） 『感性で拓くマーケティング』（恩蔵直人）.....283
- 『正岡子規の〈楽しむ力〉』（坪内稔典） 『プロメテウスの罠』①~⑤（朝日新聞特別報道部）.....284

談話席

- 『ほんとうは、どうなの？——原子力問題のウソ・ホント』（上坂冬子）.....286
- 『縦に書け！——横書きが日本人を壊す』（石川九揚）.....286
- 『決定学の法則』（畑村洋太郎） 『ヘリーの白旗』（岸俊光）.....287
- 『ハーモニカの本』（斎藤寿孝・妹尾みえ） 『文学曾メッタ斬り』（大森望、豊崎由美）.....288
- 『太空治の生と死——外はみぞれ何を笑ふや』二ノ像』（ゆりはじめ） 『吉原手引草』（松井今朝子）.....289

- ①『オン・セックス——鹿島茂対話集』（鹿島茂）②『不美人論』（藤野美奈子）.....290
- 『ライフワーク発見法——「仕事」以外の生きがい探し』（鈴木隆）.....290